東西宗教交流学会　第 43 回(2025 年度)大会プログラム
テーマ「分断と統合――宗教から何を語れるか」

日　時 ： 2025 年 7 月 29 日（火)、7 月 30 日（水）
会　場 ： 上智大学 7 号館 4 階文学部共用室 A（上智大学四谷キャンパス内）

7 月 29 日(火)

10 時 00 分－12 時 00 分　　第一セッション
発表者　黒柳 志仁（同志社大学 准教授）
講演タイトル「平和を求め、なぜ戦うのか――旧約聖書の平和思想を中心として」
応答者/司会　角田 佑一（上智大学 准教授）

13 時 00 時－15 時 00 分　　第二セッション
発表者　竹村 牧男（会員　東洋大学 名誉教授）
講演タイトル「東洋的霊性と平和への一視点――大乗仏教の思想から」
応答者/司会　石井 砂母亜（跡見学園中学校高等学校 教諭）

15 時 15 分－17 時 15 分　　第三セッション
発表者　飯塚 正人（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授）
講演タイトル「引き裂かれるイスラーム――分断志向と統合志向の間で」
応答者/司会　鶴岡 賀雄(東京大学 名誉教授)

17 時 45 分－　　懇親会

7 月 30 日(水)

9 時 30 分－11 時 30 分　　個人研究発表
発表者　菅原 潤（日本大学 教授）
講演タイトル「阿部正雄と西洋思想」
応答者/司会　寺沢 邦彦（ワートバーグ大学 教授）

11 時 30 分―12 時 30 分　総会

14 時 00 分－16 時 00 分　　第四セッション
発表者　宮本 久雄（東京大学 名誉教授）
講演タイトル「親和と相生」
応答者/司会　田中　裕（上智大学 名誉教授）

16 時 20 分－17 時 00 分

全体ディスカッション（４人の登壇者とフロアを交えた討論）

司会：田中 裕（上智大学 名誉教授）

17 時 00 分―18 時 00 分

統括、学びの分かち合い

司会：石井 砂母亜（跡見学園中学校高等学校 教諭）

※ 会員外の方の参加費は 1000 円です。奮ってご参加ください。

東西宗教交流学会事務局

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18(南山大学内)

南山宗教文化研究所内

電話(052)832-4354

FAX(052)833-6157

E-Mail: tozai-jimukyoku@nanzan-u.ac.jp

東西宗教交流学会　第 43 回(2025 年度)大会レジュメ

7 月 29 日(火)
10 辞 00 分－12 時 00 分　第一セッション
発表者：黒柳　志仁
講演タイトル：「平和を求め、なぜ戦うのかー旧約聖書の平和思想を中心として」
要旨：平和を求めるはずの宗教が、これまでの歴史の中で戦争にどう向き合ってきたのだろうか。「分断と統合」をキーワードに、西洋キリスト教社会における絶対平和主義、正戦、聖戦という戦争の形態を取り上げ、ユダヤ教からキリスト教に継承された平和思想について、旧約聖書の視点から概観する。

7 月 29 日(火)
13 辞 00 分－15 時 00 分　第二セッション
発表者：竹村　牧男
講演タイトル：「東洋的霊性と平和への一視点－大乗仏教の思想から」
要旨：経済的格差やイデオロギー的分断が広がる地球社会において、人間性の回復は緊要の課題である。その人間性の最奥のものが霊性であろう。大乗仏教の『華厳経』、『法華経』、『涅槃経』などに東洋的霊性のあり方を尋ね、寸心・大拙の宗教哲学に照らして、その霊性が分断の超克、平和の実現にいかに寄与しうるかについて考察する

7 月 29 日(火)
15 辞 15 分－17 時 15 分　第三セッション
発表者：飯塚　正人
講演タイトル：「引き裂かれるイスラーム：分断志向と統合志向の間で」
要旨：世界の分断化が進む今日、欧米に暮らすムスリムが異教徒を意識して発信するイスラーム論は分断への抵抗と見なし得る一方、「イスラム国」に代表されるジハード思想は分断、あるいは武力による世界統合を目指しているように見える。本発表ではこうした二面性をふまえ、分断と統合をめぐって、今日のイスラームが抱えている諸問題について考察したい。

7 月 30 日(水)
9 辞 30 分－11 時 30 分　個人研究発表
発表者：菅原　潤
講演タイトル：「阿部正雄と西洋思想」
要旨：阿部正雄は国内では滝沢克己と八木誠一の論争を調停した論者として、海外では論文集『禅と西洋思想』の著者として知られている。論文集に収められた 4 本の論文を検討したうえで、それらの論点を長崎で被爆したカトリック信者の永井隆の浦上燔祭説と突き合わせることで、禅とキリスト教の対話を高い次元へともたらしたい。

7 月 30 日(水)
14 辞 00 分－16 時 00 分　第四セッション
発表者：宮本　久雄
講演タイトル：「親和と相生」
要旨：本発表の核心はまず親和（connaturalitas)である。邦訳の親和のラテン語は「本性を共にすること」を意味する。本性の共有は愛によってのみ実現する。人と人が愛する時、無意識のうちにお互いの深い心が通底する。その時互いが互いの本性に関わる知を共有する。神と人、人と自然にもこの親和が当てはまる。本発表ではこの親和の具体例を幾つか示したい。